



平成24年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年4月10日

上場取引所 東

上場会社名 千代田インテグレ株式会社

コード番号 6915 URL <http://www.chiyoda-i.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小池 光明

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 佐藤 龍介

TEL 03-3542-3412

四半期報告書提出予定日 平成24年4月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家 アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年8月期第2四半期の連結業績(平成23年9月1日～平成24年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年8月期第2四半期	18,459	△2.7	854	△13.0	918	25.7	175	△61.6
23年8月期第2四半期	18,970	2.3	981	34.3	730	11.8	457	96.1

(注) 包括利益 24年8月期第2四半期 △305百万円 (—%) 23年8月期第2四半期 91百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年8月期第2四半期	13.00	—
23年8月期第2四半期	33.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年8月期第2四半期	31,328	21,318	68.1
23年8月期	32,116	22,078	68.7

(参考) 自己資本 24年8月期第2四半期 21,318百万円 23年8月期 22,078百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年8月期	—	0.00	—	27.00	27.00
24年8月期	—	0.00	—	—	—
24年8月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成24年8月期末の配当予想額につきましては、未定であります。

3. 平成24年8月期の連結業績予想(平成23年9月1日～平成24年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	6.4	1,600	24.0	1,200	35.8	700	579.1	51.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 2「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年8月期2Q	14,128,929 株	23年8月期	14,128,929 株
24年8月期2Q	611,722 株	23年8月期	611,682 株
24年8月期2Q	13,517,236 株	23年8月期2Q	13,645,196 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は完了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 追加情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における経済情勢は、欧州債務危機への不安が消えない中、タイで発生した洪水によりサプライチェーンが混乱し、世界経済は停滞気味に推移しましたが、米国経済は生産活動の改善もあり緩やかな回復を見せ、またアジア経済は電子製品需要低迷の影響を受けながらも底堅い内需に支えられ拡大しました。しかしながら、欧米を中心とする先進国の財政再建策の推進や原材料価格の高騰、新興国におけるインフレ圧力などの下押し要因も多く、引き続き先行きが不透明な状況であります。

一方、我が国経済は、個人消費や設備投資が伸び内需は堅調に推移したものの、円高やタイの洪水、更には世界的な需要減速によって外需が落ち込み生産活動は滞りました。今後は復興需要の顕在化が予想され、また先進各国の金融緩和の流れを受けて市場の円高・株安傾向に歯止めがかかるなど、ようやく一部にも明るい兆しも見えてきましたが、予断を許さない状況が続くと見込まれます。

このような状況の中で当社グループは、基本方針である収益力の改善に継続して取り組んでまいります。その一環として、日本国内の生産体制の再構築および組織・人体制のスリム化を図り、経営資源を適正に配分し、さらなる事業領域の拡大を進めてまいります。なお、タイの洪水で被災した当社の連結子会社は、一部操業を再開しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は18,459百万円（前年同四半期比2.7%減）、営業利益は854百万円（前年同四半期比13.0%減）、経常利益は918百万円（前年同四半期比25.7%増）、四半期純利益は175百万円（前年同四半期比61.6%減）となりました。

セグメントの業績につきましては、当第2四半期連結会計期間において、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較は、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

また、その他セグメントの数値に含まれる現地法人CHIYODA INTEGRRE SLOVAKIA, s. r. o. は、前第3四半期連結会計期間より新たに連結子会社となったため、その他の売上高及び営業損失の前年同四半期比較数値は記載しておりません。

日本は、顧客の海外生産移管が一層加速し、売上高は6,387百万円（前年同四半期比8.8%減）、営業損失は3百万円（前年同四半期は31百万円の営業利益）となり、東南アジアは、タイの洪水の影響が大きく、売上高は4,228百万円（前年同四半期比7.1%減）、営業利益は65百万円（前年同四半期比51.9%減）となり、中国は、人件費高騰を反映し、売上高は6,977百万円（前年同四半期比3.7%増）、営業利益は331百万円（前年同四半期比17.6%減）となり、北米は、緩やかな景気回復に支えられ、売上高は665百万円（前年同四半期比3.4%減）、営業利益は76百万円（前年同四半期比219.6%増）となり、その他の売上高は200百万円、営業損失は10百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ788百万円減少し、31,328百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金の減少442百万円であります。負債は、前連結会計年度末に比べ28百万円減少し、10,009百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少479百万円あります。純資産は、前連結会計年度末に比べ760百万円減少し、21,318百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金の減少278百万円及び為替換算調整勘定の減少427百万円あります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、本日（平成24年4月10日）に公表した「平成24年8月期第2四半期業績予想値と決算値の差異に関するお知らせ」のとおり、現時点では合理的な見積りが困難であるため、平成23年10月11日に公表した通期の連結業績予想を据え置くことといたしました。今後、算定が可能となった段階で、業績予想の修正がある場合には速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、重要な子会社の異動はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当社及び国内連結子会社は、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いた計算をしております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,100	7,147
受取手形及び売掛金	8,026	7,583
有価証券	422	40
商品及び製品	1,302	1,295
仕掛品	356	282
原材料及び貯蔵品	2,573	2,276
繰延税金資産	240	236
その他	418	548
貸倒引当金	△24	△5
流動資産合計	19,415	19,406
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,908	8,571
減価償却累計額	△5,801	△5,729
建物及び構築物（純額）	3,107	2,841
機械装置及び運搬具	7,383	6,637
減価償却累計額	△5,022	△4,637
機械装置及び運搬具（純額）	2,360	1,999
工具、器具及び備品	1,902	1,800
減価償却累計額	△1,579	△1,508
工具、器具及び備品（純額）	322	291
土地	2,503	2,467
建設仮勘定	304	400
有形固定資産合計	8,598	8,002
無形固定資産		
ソフトウェア	722	565
電話加入権	12	12
無形固定資産合計	734	577
投資その他の資産		
投資有価証券	1,897	1,830
繰延税金資産	36	35
その他	1,463	1,511
貸倒引当金	△28	△35
投資その他の資産合計	3,368	3,341
固定資産合計	12,701	11,921
資産合計	32,116	31,328

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,979	5,500
短期借入金	1,880	1,907
1年内返済予定の長期借入金	—	14
未払法人税等	63	162
賞与引当金	294	249
災害損失引当金	—	272
その他	812	886
流動負債合計	9,029	8,992
固定負債		
長期借入金	—	85
繰延税金負債	217	97
退職給付引当金	569	675
その他	222	157
固定負債合計	1,008	1,016
負債合計	10,037	10,009
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,331	2,331
資本剰余金	2,450	2,450
利益剰余金	20,877	20,598
自己株式	△848	△848
株主資本合計	24,811	24,532
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△104	△158
為替換算調整勘定	△2,627	△3,055
その他の包括利益累計額合計	△2,732	△3,213
純資産合計	22,078	21,318
負債純資産合計	32,116	31,328

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成23年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成24年2月29日)
売上高	18,970	18,459
売上原価	15,056	14,777
売上総利益	3,914	3,681
販売費及び一般管理費	2,932	2,827
営業利益	981	854
営業外収益		
受取利息	11	11
受取配当金	21	16
為替差益	—	91
持分法による投資利益	15	—
その他	62	49
営業外収益合計	110	169
営業外費用		
支払利息	41	12
為替差損	279	—
その他	41	92
営業外費用合計	362	105
経常利益	730	918
特別利益		
前期損益修正益	12	—
固定資産売却益	12	9
貸倒引当金戻入額	0	—
特別利益合計	25	9
特別損失		
前期損益修正損	35	—
固定資産除売却損	4	24
ゴルフ会員権評価損	3	—
投資有価証券評価損	34	—
災害損失引当金繰入額	—	272
災害による損失	—	236
リース解約損	—	65
その他	6	17
特別損失合計	84	615
税金等調整前四半期純利益	671	311
法人税等	214	136
少数株主損益調整前四半期純利益	457	175
四半期純利益	457	175

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)
少数株主損益調整前四半期純利益	457	175
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	192	△53
為替換算調整勘定	△501	△427
持分法適用会社に対する持分相当額	△56	—
その他の包括利益合計	△365	△481
四半期包括利益	91	△305
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	91	△305
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	671	311
減価償却費	620	581
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	90	108
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△74	△43
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	—	272
受取利息及び受取配当金	△32	△28
支払利息	41	12
為替差損益 (△は益)	69	△165
持分法による投資損益 (△は益)	△15	—
固定資産除売却損益 (△は益)	△7	15
投資有価証券評価損益 (△は益)	34	—
災害損失	—	236
リース解約損	—	65
売上債権の増減額 (△は増加)	361	227
たな卸資産の増減額 (△は増加)	159	80
仕入債務の増減額 (△は減少)	△563	△289
その他	△2	110
小計	1,352	1,494
利息及び配当金の受取額	30	31
利息の支払額	△12	△9
災害損失の支払額	—	△45
法人税等の支払額	△293	△171
法人税等の還付額	29	80
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,105	1,381

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成23年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成24年2月29日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△420	△1,164
定期預金の払戻による収入	—	814
有価証券の取得による支出	—	△19
有価証券の売却及び償還による収入	—	402
有形固定資産の取得による支出	△413	△294
有形固定資産の売却による収入	23	99
無形固定資産の取得による支出	△26	△14
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の償還による収入	—	19
関係会社株式の取得による支出	—	△80
関係会社出資金の払込による支出	△272	—
貸付けによる支出	—	△208
貸付金の回収による収入	32	—
その他	△16	△23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,094	△470
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金純増減額 (△は減少)	△0	57
長期借入れによる収入	—	100
自己株式の取得による支出	△316	△0
セール・アンド・リースバックによる収入	134	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△17	△27
配当金の支払額	△373	△365
財務活動によるキャッシュ・フロー	△572	△236
現金及び現金同等物に係る換算差額	△128	△24
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△689	650
現金及び現金同等物の期首残高	6,726	5,281
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,037	5,931

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年9月1日至平成23年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	東南アジア	中国	北米			
売上高							
(1)外部顧客への売上高	7,002	4,549	6,729	688	18,970	—	18,970
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,323	72	533	42	2,972	△2,972	—
計	9,326	4,621	7,262	731	21,942	△2,972	18,970
セグメント利益	31	135	401	24	593	388	981

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年9月1日至平成24年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)4
	日本	東南アジア	中国	北米 (注)2	計				
売上高									
(1)外部顧客への売上高	6,387	4,228	6,977	665	18,258	200	18,459	—	18,459
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,815	60	380	1	2,258	1	2,260	△2,260	—
計	8,203	4,288	7,358	666	20,517	202	20,719	△2,260	18,459
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△3	65	331	76	469	△10	459	395	854

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州の現地法人の事業活動を含んでおります。なお、「その他」に含まれる現地法人CHIYODA INTEGRRE SLOVAKIA, s. r. o. は、前第3四半期連結会計期間より新たに連結子会社となっております。

2. 「北米」の区分は、米国と地理的近接度によりメキシコの現地法人の事業活動を含んでおります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

4. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第2四半期連結会計期間においては、「その他」に含まれていた「北米」の量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(タイの洪水による被害の発生)

平成23年10月上旬に発生したタイの洪水により、当社の連結子会社CHIYODA INTEGR (THAILAND) CO., LTD. は被害を受けました。

四半期連結貸借対照表において、棚卸資産及び固定資産の滅失見積額及び操業停止中の固定費等の見積額を災害損失引当金として計上しております。ただし、復旧費用等について、現時点では合理的に見積ることは困難であることから、災害損失引当金に含めておりません。

また、同社にかかる被害に備えた保険を付しておりますが、当第2四半期連結累計期間において保険金の受取額が確定していないため、保険金収入を計上しておりません。なお、四半期連結貸借対照表の流動負債「その他」に保険金の仮受額95百万円が含まれております。